

令和8年度
医療的ケア児等コーディネーター養成研修
演習2日目 進行資料

R8.7.22

1日目の獲得目標

医療的ケア児者の人生を応援する者として、本人の「意思決定」を尊重することができる。

2日目の獲得目標

各自が専門職種を背景に、医療的ケア児等コーディネーターとして何をするか、具体的にイメージできる。

「我が町の資源」

＜個人ワーク＞「我が町の資源」 3分

- ・調べてきた資源や取り組みについて、付箋1枚につき1つ、記入してください。

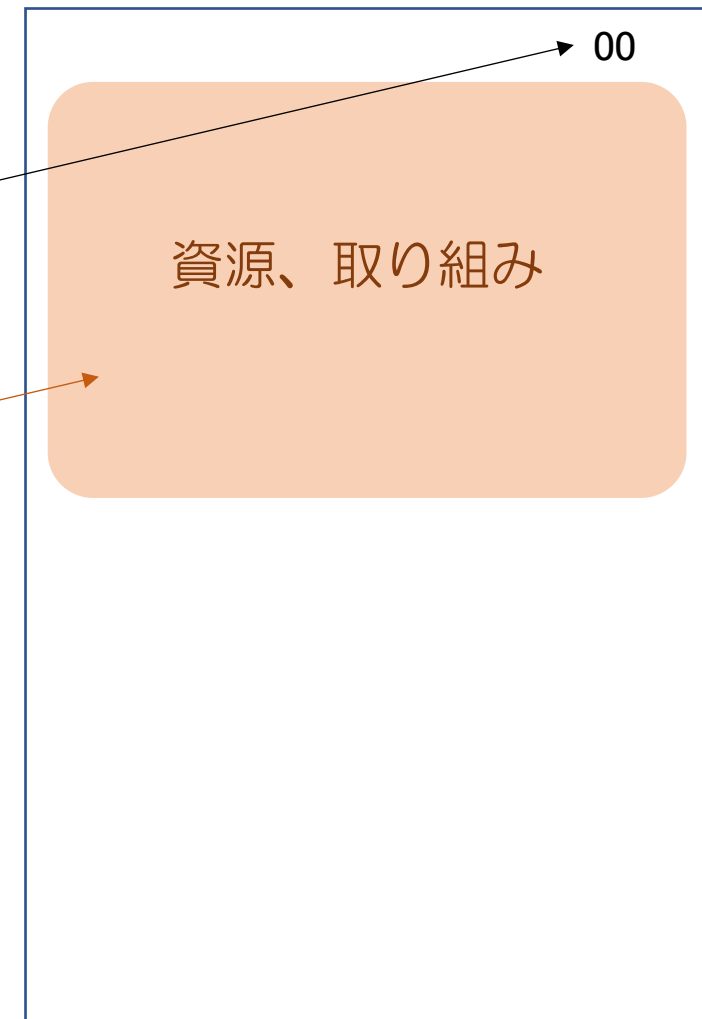
＜グループワーク＞「我が町の資源」 30分

- ・模造紙①の右上にグループ番号を記入してください。
- ・個人ワークの付箋を出し合って、模造紙①の上半分に貼りながら共有。
- ・他のグループに伝えたい資源や取り組みを、**3つ以上**選んでおく。

＜全体共有＞「我が町自慢」 30分

- ・1グループ2分以内
- ・他のグループに伝えたい資源や取り組みを発表

模造紙①



「課題の共有」

所要時間は目安です。
当日のアナウンスに従ってください。

＜個人ワーク＞「課題の共有」 3分

- ・課題と感じていることについて、付箋1枚につき1つ、記入してください。

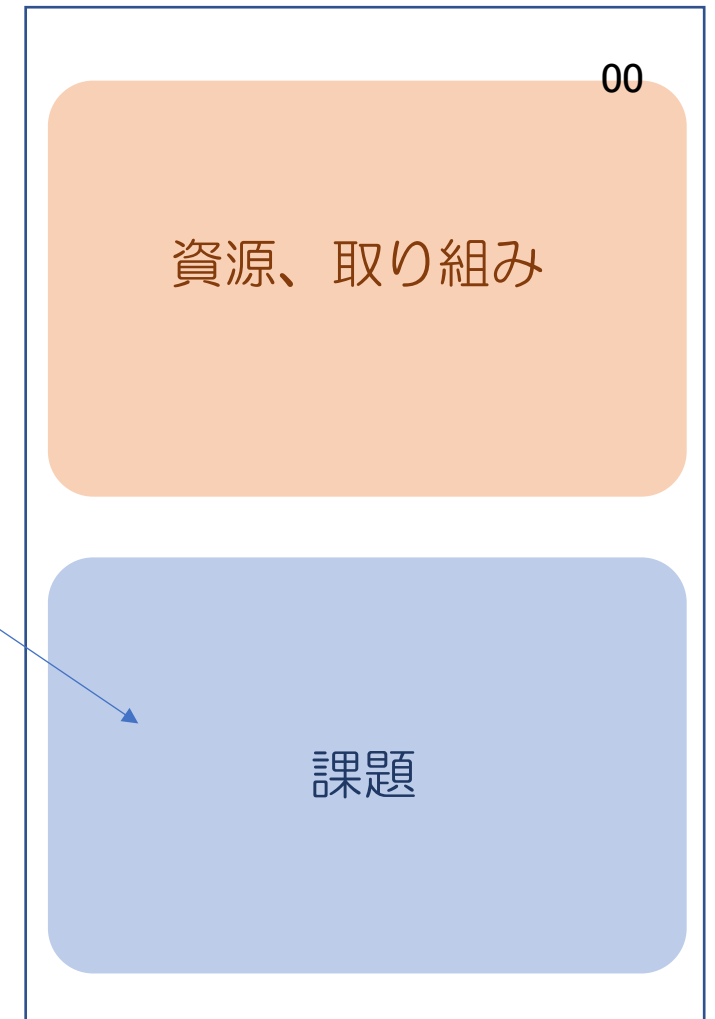
＜グループワーク＞「課題の共有」 20分

- ・個人ワークの付箋を出し合って、模造紙①の下半分に貼りながら共有。
- ・グループで掘り下げたい課題を、1つ選んでおく

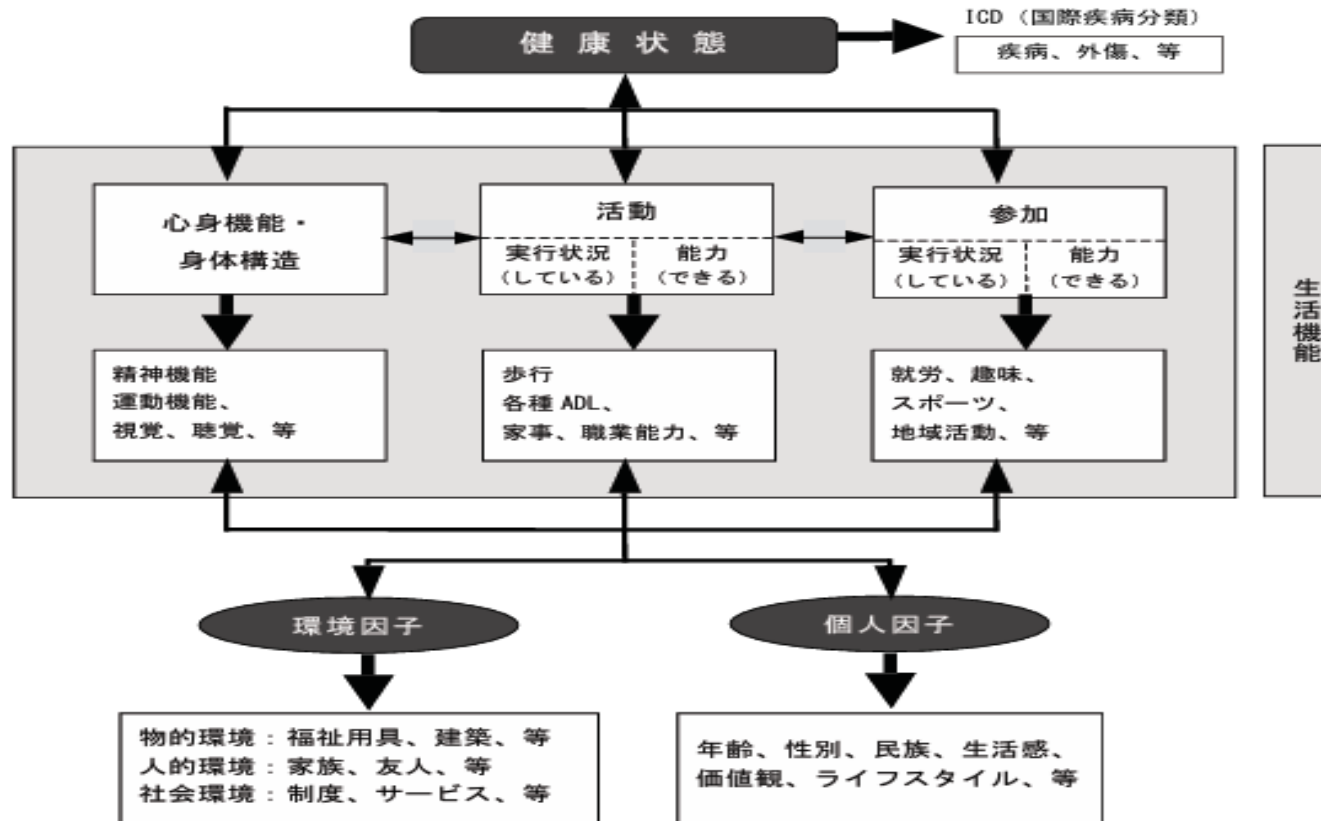
＜全体共有＞「課題の共有」 20分

- ・1グループ1分以内
- ・拳がった課題と、本日掘り下げたい課題を共有

模造紙①



ICF 国際生活機能分類



✓ ほとんどすべての要素が
双方向の矢印で結ばれる、
“相互作用モデル”である。

✓ サービスの効果を考える際、
相互作用による他要素への
影響を含めてみる必要がある。

参考資料: 厚生労働省 / 国立長寿医療センター 研究所 生活機能賦活研究部 大川弥生 / ICF (国際生活機能分類) - 「生きることの全体像」についての「共通言語」- (P3-2)
<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002ksqi-att/2r9852000002ksw.pdf>

画像出典: 厚生労働省 (平成23年) 「第2回ICFシンポジウム 生活機能分類の活用に向けて～共通言語としてのICFの教育・普及を目指して～」P40
<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000014cnf-att/2r98520000014cow.pdf>

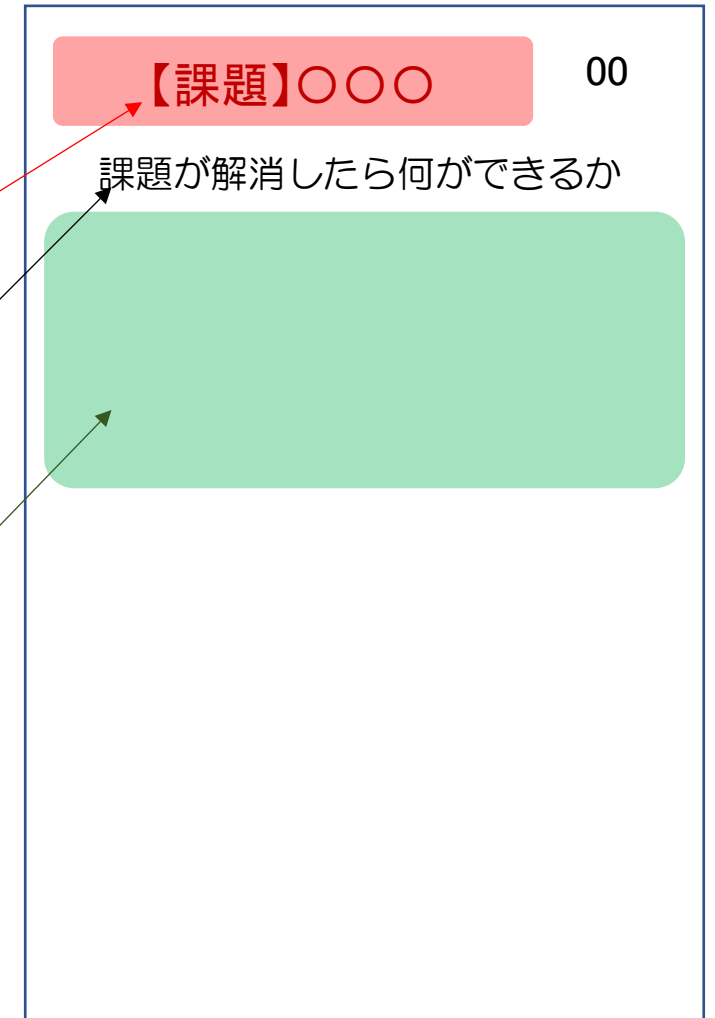
所要時間は目安です。
当日のアナウンスに従ってください。

「どう解決するか」～目指すべき姿～

模造紙②

<グループワーク> 「どう解決するか」～目指すべき姿～ 20分

- ・模造紙②の右上にグループ番号を入れる。
- ・模造紙②の上部に選定した課題を書き入れる。
- ・その下に「課題が解消したら何ができるか」と書き入れる。
 - ・課題が解消したらできるようになることを、付箋に書いて貼っていく。



「どう解決するか」 ～解決のために必要なこと～

所要時間は目安です。
当日のアナウンスに従ってください。

模造紙②

＜グループワーク＞
「どう解決するか」
～解決のために必要なこと～ 40分

- ・「課題が解消したら何ができるか」の下に
「課題を解消するための取組」と書く。
- ・その下に、考えられる取組を付箋に書いて貼る。

【課題】〇〇〇 00

課題が解消したら何ができるか

課題を解消するための取組

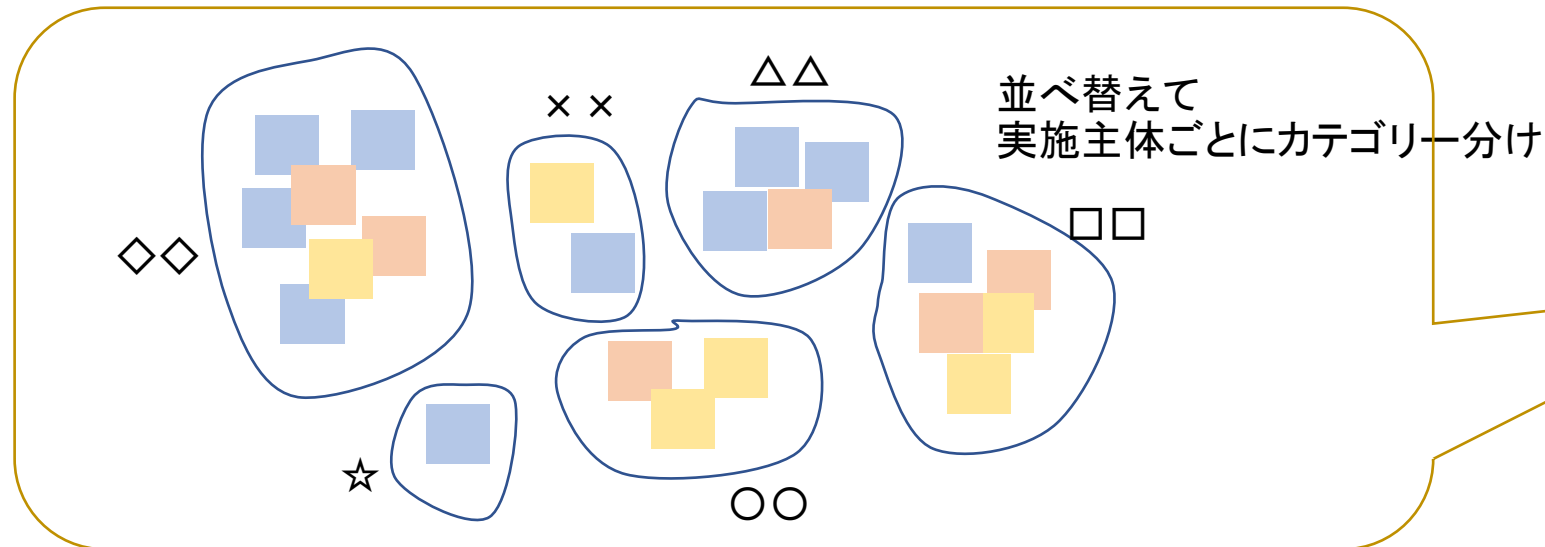
所要時間は目安です。
当日のアナウンスに従ってください。

「どう解決するか」～役割分担～

＜グループワーク＞

「どう解決するか」～役割分担～ 35分

- ・課題解消の取組について、誰(どこ)ができるか、対応できるかを考え、対応する人(機関)ごとにまとめてカテゴリー分けする。



模造紙②

【課題】○○○	00
課題が解消したら何ができるか	
課題を解消するための取組	

「どう解決するか」～情報収集・情報共有～

【休憩に入る前に】

各グループで、発表者を3人決める(順番も決める)。

【情報収集タイム】

<発表者がやること>

決めた順番でグループに残り、訪れた人に模造紙②を使って発表。

10分以内で、

選定した課題、課題が解消したら何ができるか、どこが何をするか
を説明。時間が余ったら質疑応答。

<発表者以外がやること>

他のグループの発表を聞きに行く。

より多く情報が集まるよう、なるべくばらけるとよい。

3回
実施

「どう解決するか」～情報収集・情報共有～

＜グループワーク＞「どう解決するか」～情報収集・情報共有～ 30分

- ・聞いてきたことをシェア
- ・新たなアイデアが浮かべば付箋追加OK

所要時間は目安です。
当日のアナウンスに従ってください。

休憩 20分

模造紙の写真撮影OK

所要時間は目安です。
当日のアナウンスに従ってください。

どう解決するか

まとめ

「これから私ができること」

＜個人ワーク＞「これから私ができること」 5分

- ・様々なテーマ、そして対応策を聞いたことを振り返り、自分がコーディネーターとしてできそうなこと(基礎職をベースに)を考える。
- ・大きなことでなくていい。(グループのテーマには拘らない)

＜グループワーク＞「これから私ができること」 25分

- ・個人ワークの結果を共有

研修事業

◇見学研修

- ・ 9月中旬～下旬に実施予定

◇医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修

ご案内は、市町村から周知もしくはメール等でご連絡いたします。
ご参加をお待ちしております！

研修事業

医療的ケア児等コーディネーター施設見学研修



コーディネーター同士
顔の見える関係になり
ネットワークを広げよう

2026年度
医療的
ケア児等
コーディネーター
研修地区フォローアップ研修

日程

6/19	金	29	月
10/7	水	20	火
2/8	月	25	水

10:00~12:00 事前予約制(先着順)

POINT1/
入所のこどもたち

医療的ケア児等施設カルガモの家の「真実・支援入居フロア」を会場開放いたします

POINT2/
外家のこどもたち

カルガモの家の「おひさまルーム」「リハビリ室」を社会福祉士と理学療法士が説明します

POINT3/
意見交換

地域センターかけはし職員と参加者で、研修の現状や将来の展望の共有、これからの取り組みについてお話ししましょう

対象 かけはし圏域の医療的ケア児等コーディネーター 各回3名

会場 研修室(研修室) 受付にて胸章を記載していただきます。その際、体調を伺いますので、直近2週間の検温をお願いします。

費用 無料 カルガモの家駐車場をご利用ください

埼玉県医療的ケア児等支援センター
地域センターかけはし
049-225-5770
ikea-center@karugamo.or.jp
川崎市鶴田930-1



地域センターかけはし
埼玉県医療的ケア児等支援センター

主催イベントの
お知らせ

医療的ケア児者の写真パネル展



2026
医療的ケア児者の
写真パネル展

～知ってほしい ぼく・わたしの日常～

11/27(金)・28(土)・29(日)
10:00~17:00
*初日は12:00から、写真は21:00まで展示中

@イオンタウンふじみ野
1階セントラルステージ
ふじみ野市鶴田2丁目1-5 東武東上線 上瑞町駅から徒歩15分

主催：埼玉県医療的ケア児等支援センター 地域センターかけはし
医療的ケア児等施設 カルガモの家
049-225-5770 ikea-center@karugamo.or.jp
※会場：埼玉県医療的ケア児等支援センター 地域センター 会場：イオンタウンふじみ野

お問い合わせ
049-225-5770
9:30~17:00

研修を受講いただきありがとうございました！

皆さまの今後のご活躍を心より応援しております。

